

「上田地域農村女性スマホ活用術講座」を開催しました

上田合同庁舎で11月15日、長野県農村生活マイスター上小支部主催による、「上田地域農村女性スマホ講座」が開催されました。

当日は、農村生活マイスター上小支部会員、地域の農村女性ネットワークや女性農業委員、市町村担当者等38名が参加しました。

今や当たり前のように持っている「スマホ」について、ただ電話するだけではなく、農家として使える活用術について学ぼうと、上田市にあるパソコン教室「ファイブボックス」代表の吉田卓湊さんを講師にお招きして、「SNSを使った情報発信と情報収集」と題して講演をしていただきました。

LINEやTwitterなどのSNSアプリについて、それぞれの特徴と使い方について、丁寧に説明をしていただきました。上手く使い分けることで、情報発信やコミュニケーションの幅が広がるため、参加者からは「家族や知り合いに勧められて、何となくLINEを始めたけど、使い方を改めて理解することができて良かった」と、大変好評でした。

質問のコーナーでは、電子決済やHPの作成方法等、多種多様な質問が出され、関心の高さが伺えました。

今回、初めての試みとしてメイン会場のほか、リモート形式でサテライト会場を設けて開催をしました。会場まで移動の手間が省けるとのことで好評だった反面、一時音声が届かないなど課題もあり、定着させるにはまだまだ改善が必要だと感じました。

新型コロナの感染拡大が少し落ち着いてきましたが、今だ予断を許さない状況下でもあり、今回の講座は、新たな支部活動の方法を見出すことができたと思います。

支援センターとして、今後も出来ることから、活動を支援していきたいと思えます。



左：講師の吉田卓湊氏

上：講座の様子